

小型車用 ロートノイズ対応 音質音量制御

Case-A マイクロホンを使用する場合の構成:

1. 制御アルゴリズム: (音量帰還を抑制するアルゴリズムを含め Cソースで供給)
(設計仕様書を提供) (信号処理機能と再生信号とのリンクが必要)
2. 回路設計: (設計仕様書を提供)
3. マイクロホンの取り付け場所: 相談の上、決定

Case-B 加速度センサーを使用する場合の構成:

1. 制御アルゴリズム: (振動から騒音を想定するアルゴリズムを含め Cソースで供給)
2. 回路設計: (設計仕様書を提供)
3. 加速度センサーの取り付け場所: プリントキバン上

仕様

低速走行時: 音質音量制御を抑制

減速時: 急速に制御を抑制

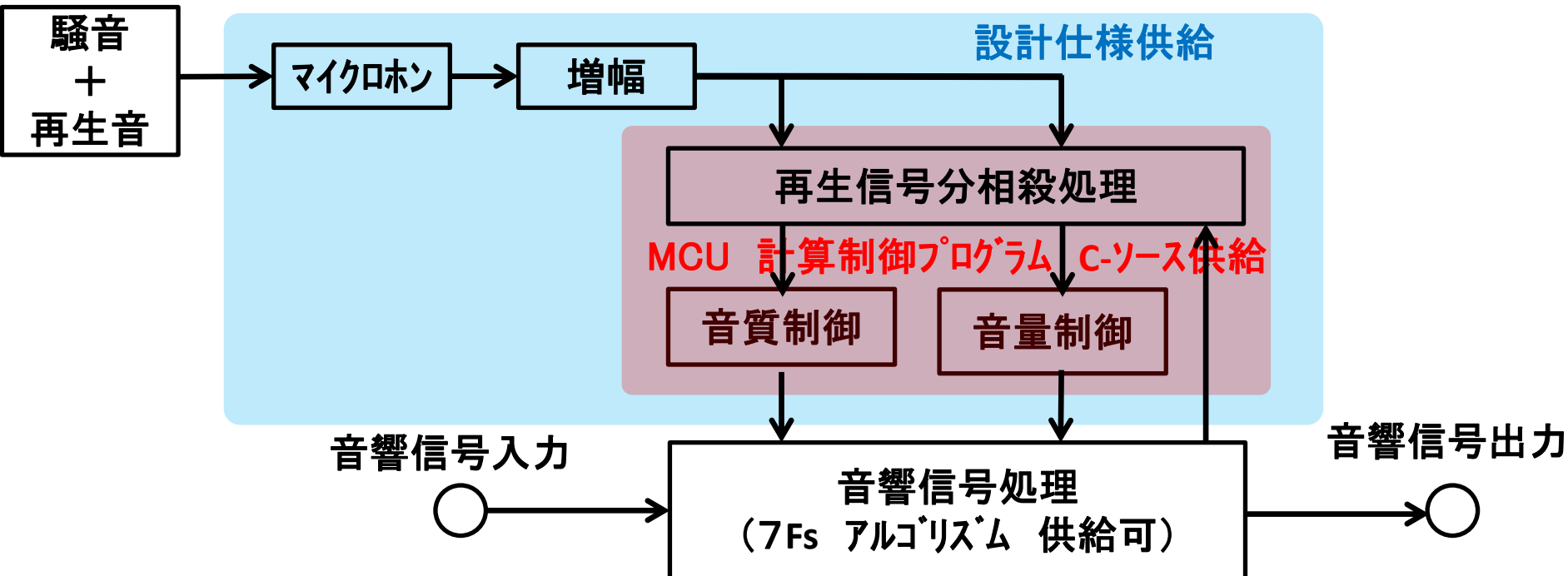
音質音量の変化に対する違和感: 条件{全く感じない}を前提に 組み込む車に合わせて調整

制御プログラム: MCU に組込

Case-A の場合: マイクロホンで検出されるスピーカの再生音の検出信号をリジェクトする機能を含む

Case-B の場合: 高速走行時に発生する振動によって音質音量を制御。風切り音には対応できない

CASE -A 構成ブロック図



CASE -B 構成ブロック図

